

高千穂中学校移転先候補地比較表

(資料1)

候補地		候補地 1 高千穂温泉跡地	候補地 2 高千穂小学校隣接地	候補地 3 総合公園内	候補地 4 折原グラウンド	候補地 5 上野小・中学校校舎の活用
立地環境	敷地面積	約25,000㎡ 十分な広さ	約15,000～24,000㎡ 十分な広さ	約7,000㎡ 面積は手狭	約37,000㎡ 十分な広さ	約17,000㎡ 校舎配置の検討
	校地環境	・見晴らしや景観が良好	・やや高低差のある地形	・平坦で安全な地形	・平坦でまとまった形状	・校地として安全な地形
		・既存施設の撤去が必要	・地質の調査が必要	・校舎配置の検討が必要	・地盤の調査が必要	・校舎の配置場所の検討が必要
	周辺環境	・車の出入の少ない安全な環境	・大部分が農地となっている	・各地区からのアクセスが良い	・国道沿いでアクセスが良い	・国道からのアクセスが良い
・温水プールに隣接		・高千穂小との連携が可能	・社会教育・体育施設に隣接	・グラウンドの利活用	・上野体育館に隣接	
コスト面	概算費用	約1.3億円	約5.5億円	約0.5億円	約1.0億円	約0.5億円
	造成期間	約2年	約6年	約1.5年	約1.5年	約2年
通学環境	通学区域	生徒数が多い地域から比較的近く、徒歩通学距離が短い。またバス通学でのアクセス環境も良い	生徒数が多い地域から近く、徒歩通学距離が短い。またアクセス路の整備により、バス通学でのアクセス環境も良くなる	生徒数が多い地域から比較的近く、徒歩通学距離が短い。バス通学でのアクセス環境は多少不便になる	生徒数が多い地域から比較的遠く、徒歩通学距離が長い。またバス通学でのアクセス環境も多少不便になる	生徒数が多い地域から遠いため、徒歩通学距離が長い。また大多数の生徒がバス通学に時間を要する
	通学経路	周辺は比較的交通量が少なく、歩道が整備されている	通学のための国道等からのアクセス路の整備が必要	周辺は比較的交通量が多く、交差点も多い	周辺は比較的交通量が多いが、歩道が整備されている	周辺は比較的交通量が多いが、歩道が整備されている
その他	農地転用	不要	手続きが必要	不要	不要	手続きが必要
	埋蔵物調査	不要	調査が必要	不要	不要	不要
	検討が必要な事項	・温泉施設等の解体	・遺跡の調査・発掘	・安全な通学路の検討	・安全な通学路の検討	・教室の面積（上野小・中49㎡、高千穂中61.2㎡）の違いによる校舎の
		・敷地の高低差による施設配置の検討	・火薬倉庫の移設 用排水路の移設	・災害時の拠点場所	・災害時の拠点場所	
			・工事用車両の通路の確保	・施設利用と学校との安全面の確保、不審者侵入対策の難しさ	・ヘリポートとしての使用	・施設の代替地の確保
		主要道路とのアクセス路の整備	・高速の取付道計画に伴う交通量の増加	・基礎杭の事業費が別途多額になる見込み	・通学用バス経費等の増	